

肝疾患相談センターの認知度を いかにして高めるか？

～名古屋市大からの事例報告～

名古屋市立大学病院 肝疾患センター
田中 靖人

肝疾患相談室開設までのながれ

2008年

4月 愛知県より「肝疾患診療連携拠点病院」指定
肝疾患センター、肝疾患相談室設置規程作成

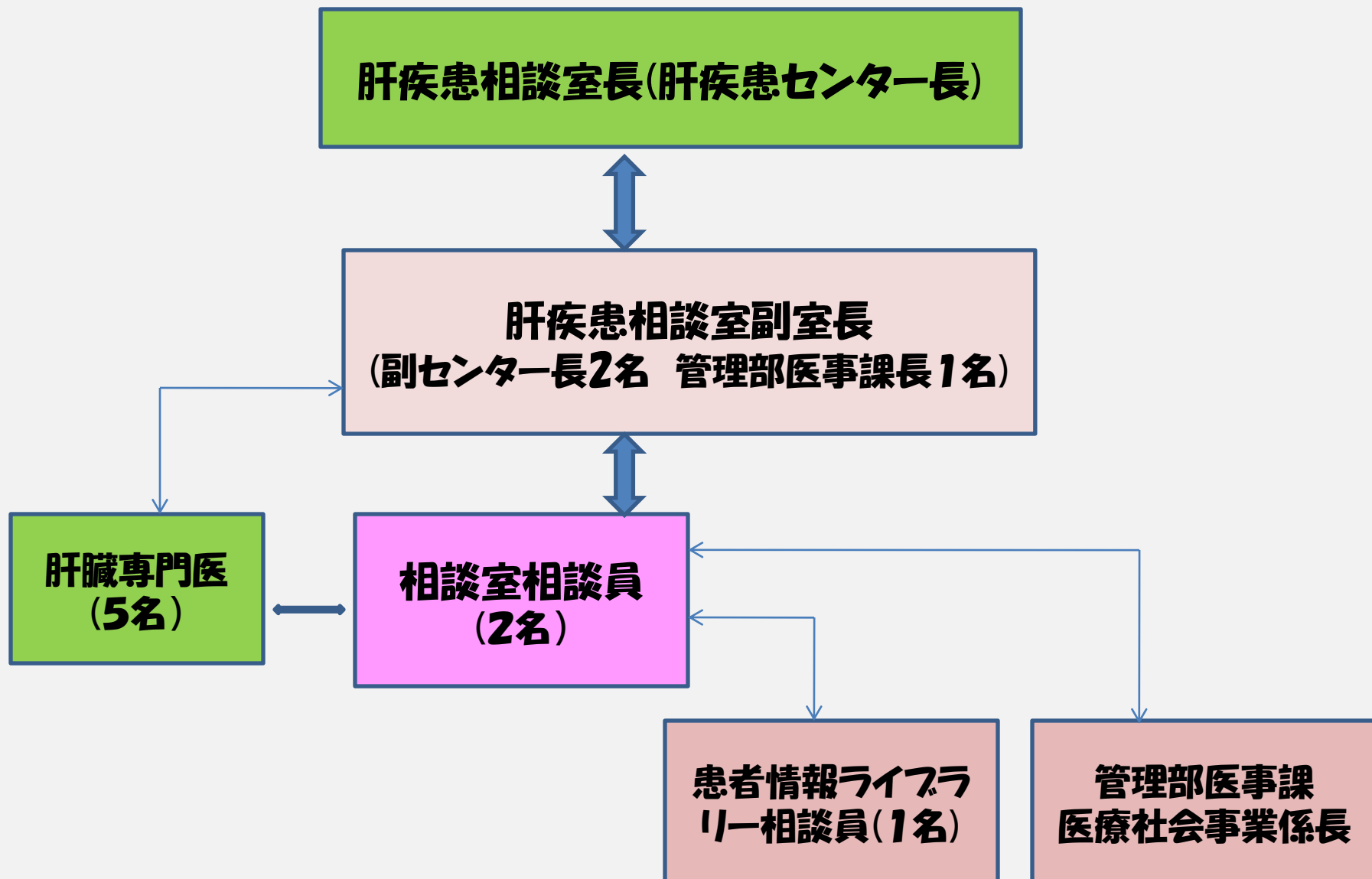
5月 肝疾患相談室整備

6月 相談等の流れ(フロー図)作成
「肝疾患支援相談票」作成

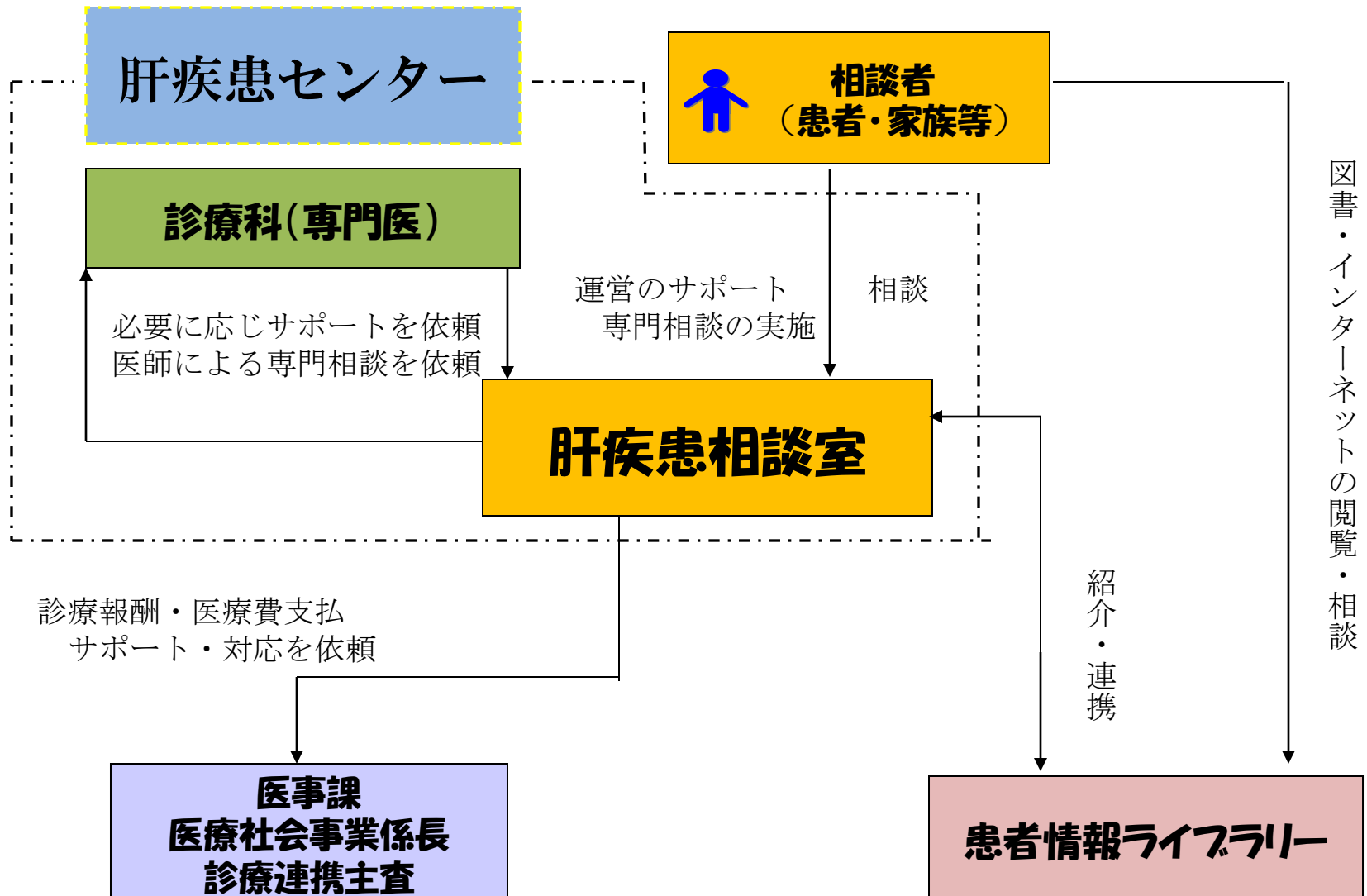
7月 肝疾患相談室開設
「一般相談」専任相談員(看護師)2名が電話および
面談にて対応
月～金 9:00～16:00 (12:00～13:00)除く
「専門相談」必要に応じて肝専門医が対応(予約制)



肝疾患センター 組織図



相談等のながれ(フロー図)



相談のながれ

1. 電話や面談で寄せられる相談は専任の相談員が一般相談として対応する
2. 相談員が判断が困難な事例については専門医にサポートを依頼し、助言を受け患者に回答する
3. 専門相談が必要と判断した場合は専門医に依頼する(予約制)
4. 一般相談、専門相談の内容は「肝疾患支援相談票」に記載する
5. 相談は診療行為ではないため、当院の患者であってもカルテへの記載は行わない

電話相談(近藤相談員)



相談のながれ

1. 電話や面談で寄せられる相談は専任の相談員が一般相談として対応する
2. 相談員が判断が困難な事例については専門医にサポートを依頼し、助言を受け患者に回答する
3. 専門相談が必要と判断した場合は専門医に依頼する(予約制)
4. 一般相談、専門相談の内容は「肝疾患支援相談票」に記載する
5. 相談は診療行為ではないため、当院の患者であってもカルテへの記載は行わない

専門医とのミーティング



面談風景



相談のながれ

1. 電話や面談で寄せられる相談は専任の相談員が一般相談として対応する
2. 相談員が判断が困難な事例については専門医にサポートを依頼し、助言を受け患者に回答する
3. 専門相談が必要と判断した場合は専門医に依頼する(予約制)
4. 一般相談、専門相談の内容は「肝疾患支援相談票」に記載する
5. 相談は診療行為ではないため、当院の患者であってもカルテへの記載は行わない

肝疾患相談支援票(データベース作成)

肝相談支援システム : データベース (Access 2007) - Microsoft Access

ホーム 作成 外部データ データベース ツール

相談票基本フォーム

1 相談日	2010/10/20	水曜日	~	相談時間	分	区分	☐ 10分未満 ☐ 10分~30分未満	☐ 30分~1時間未満 ☐ 1時間以上	受付No	###
2 対応方法	☐ 来訪 ☐ 電話 ☐ その他									
3 相談者	患者ID	年齢	歳	☐ 10歳~19歳 ☐ 10歳未満	☐ 30歳~39歳 ☐ 20歳~29歳	☐ 50歳~59歳 ☐ 40歳~49歳	☐ 70歳以上 ☐ 60歳~69歳	☐ 年齢不明	性別	☐ 男性
4 相談者カテゴリー	☐ 本人 ☐ 家族 ☐ 友人 ☐ 一般 ☐ 医療関係者 ☐ その他									
5 治療状況	☐ 不明 ☐ 診断なし ☐ 治療前 ☐ 治療中 ☐ その他									
6 利用回数	☐ はじめて ☐ 2回以上									
7 受診状況	☐ 当院入院 ☐ 当院外来 ☐ 他院入院 ☐ 他院外来 ☐ その他									
8 相談区分	☐ 一般相談 ☐ 専門相談									
9 相談内容 (複数選択可)	☐ 肝炎ウイルスの身体への影響 ☐ 検診・受診の必要性 ☐ 治療の意義 ☐ 専門医療機関の紹介 ☐ 日常生活上の留意点 ☐ 感染予防 ☐ 定期的な受診の必要性 ☐ インターフェロンの不安払拭 ☐ セカンドオピニオン ☐ 医療費相談 ☐ 輸血・血液製剤の投与 ☐ 肝炎・肝硬変・肝がん ☐ その他	10 支援内容 (複数選択可)	☐ 検診・受診の指導 ☐ 治療内容の説明・指導 ☐ 専門医療機関の紹介 ☐ 生活指導 ☐ インターフェロン治療への援助 ☐ 情報収集・提供 ☐ 医療給付の説明 ☐ パンフレットの提供 ☐ 医療機関への確認・指導 ☐ 肝炎・肝がん相談 ☐ 患者連絡 ☐ 専門医との調整 ☐ 他部門との調整 ☐ その他	相談内容	対応	11 肝疾患相談室	☐ 病院スタッフ ☐ パンフレット ☐ 家族・友人・知人 ☐ インターネット ☐ 院内掲示板 ☐ その他			

システム開発に
大きく貢献！

荒木(前)主査



終了

レコード: 223 / 223 フィルタなし 検索

フォームビュー

Microsoft Access ... Microsoft PowerP...

21:43

肝疾患相談支援票

肝疾患支援相談票

センター長	副センター長	医事課長	医事課	相談員
1 受付日 平成22年10月13日 水曜日 10:00 ~ 10:10 相談時間 10分 受付No. 201				
2 対応方法 ☐ 来訪 ☒ 電話 ☐ その他				
3 相談者 氏名: 患者ID: 年齢: 歳 ☐ 男性 ☒ 女性				
4 相談者のカテゴリ ☐ 本人 ☐ 家族() ☐ 友人 ☐ 一般 ☒ 医療関係 ☐ その他()				
5 治療状況 ☐ 不明 ☐ 診断なし ☐ 治療前 ☒ 治療中 ☐ その他()				
6 利用回数 ☐ はじめて ☒ 2回以上				
7 受診状況 ☐ 当院入院 ☒ 当院外来 ☐ 他院入院 ☐ 他院外 ☐ その他()				
8 相談区分 ☒ 一般相談 ☐ 専門相談				
相談・支援内容				
9 相談内容(複数選択可) ☐ 肝炎ウイルスの影響 ☐ 検査受診の必要性 ☐ 治療の意義 ☐ 専門医療機関の紹介 ☐ 日常生活の留意点 ☐ 感染予防 ☐ 定期的受診の必要性 ☐ IFNの不安払拭 ☐ セカンドオピニオン ☐ 医療費相談 ☐ 輸血血液製剤の授与 ☐ 肝炎・肝硬変・肝がん ☒ その他 ☒ 肝炎IFN治療加算、肝炎IFN治療計画料について <相談内容> 小児科医師より、肝炎IFN治療加算、肝炎IFN治療計画料についての問い合わせあり。				
10 支援内容(複数選択可) ☐ 検査・受診の指導 ☐ 治療内容の説明・指導 ☐ 専門医療機関の紹介 ☐ 生活指導 ☐ IFN治療への援助 ☐ 情報収集・提供 ☐ 医療給付の説明 ☐ パンフレットの提供 ☒ 医療機関への確認・指導 ☐ 肝炎・肝硬変・肝がん相談 ☐ 患者連絡 ☐ 専門医との調整 ☐ 他部門との調整 ☐ その他 <対応> 連携病院の肝炎IFN治療計画料の加算の算定方法について、事務局に確認して伝えた。				
11 肝疾患相談室をどのように知りましたか ☐ 病院スタッフ ☐ パンフレット ☐ 家族・友人・知人 ☐ インターネット ☐ 院内掲示板 ☒ その他() 備考()				

データベース化

1) 集計が容易

2) 統計処理も可能

3) 印刷して専門医

による確認実施

相談件数が増えた理由

1. 病院内の立地条件

- ・ 正面玄関から近い、わかりやすい場所

2. ホームページの開設(病院ホームページのトップページ)

- ・ 病院事務局のサポート体制

3. 専門の相談員2名 & 専門医7名との連携(毎日対応)

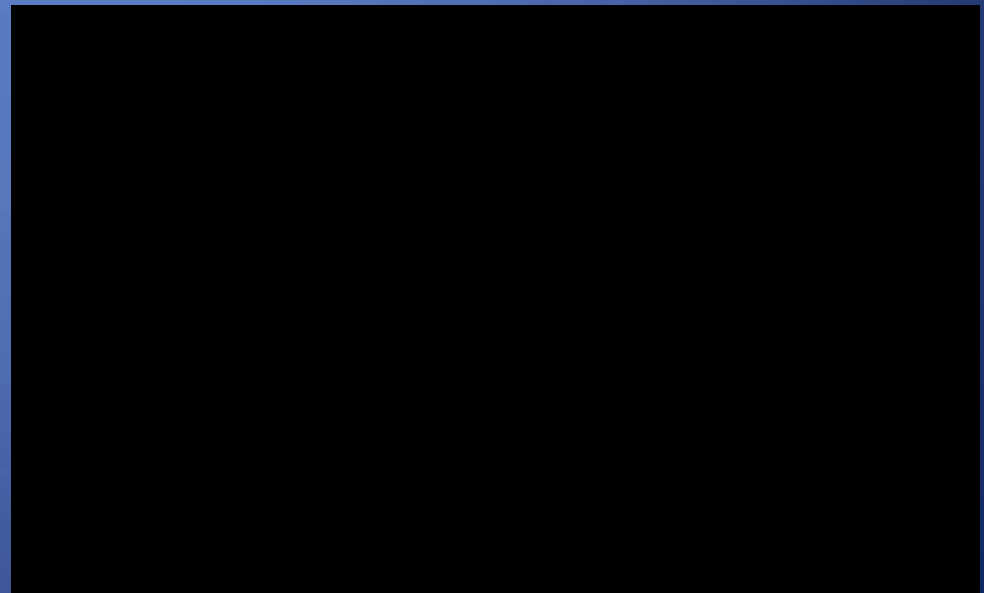
4. 広報活動

- ・ 市民公開講座は病院内で行い、相談室の場所を実際に見学して頂く
- ・ 医師会訪問で直接PR(頼れる事務局)
- ・ 新聞など取材の受け入れ

病院内の立地条件（正面玄関から近い、わかりやすい場所）

肝疾患相談室

場所	病棟・中央診療棟1階
時間	9時～12時、13時～16時 (土日祝・年末年始を除く)
お問い合わせ先	052-858-7138(直通)



ホームページの開設

愛知県肝疾患診療連携拠点病院
名古屋市立大学病院 肝疾患センター

病院ホームページのトップページ
からリンク

[HOME](#) [関連リンク](#)

[ご挨拶](#) [センター紹介](#) [肝疾患相談室](#) [患者さんへ](#) [研修会・協議会](#) [肝疾患診療連携拠点病院](#)

[HOME](#) > 肝疾患相談室

肝疾患相談室

● 肝疾患相談室

名古屋市立大学病院では肝疾患診療連携拠点病院事業の一環として、「肝疾患相談室」を設置し、肝疾患に関する相談を無料でお受けしています。専任の相談員（看護師）が患者さんやご家族の方々からご相談をお受けし、情報提供を行っていますので、ご利用ください。

また、必要に応じて医師が患者さんやご家族の方々からご相談をお受けします。



場所	病棟・中央診療棟1階
時間	9時～12時、13時～16時 (土日祝・年末年始を除く)
お問い合わせ先	052-858-7138(直通)

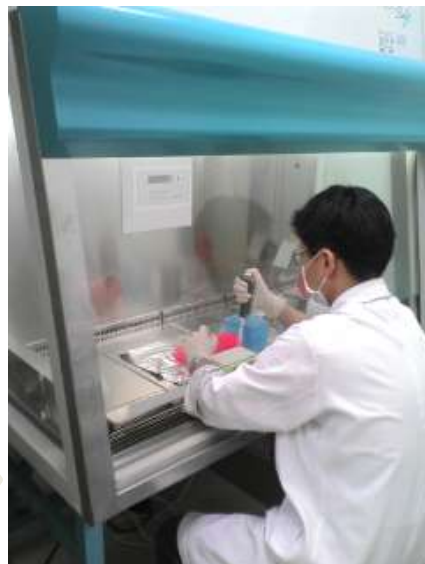


当院での‘先進医療’運用状況

担当者： 3名（検体・血液・微生物検査係に所属の各1名）



週2回（火・金）
DNA抽出



Light Cycler480
System-II（ロシュ）



87 IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価

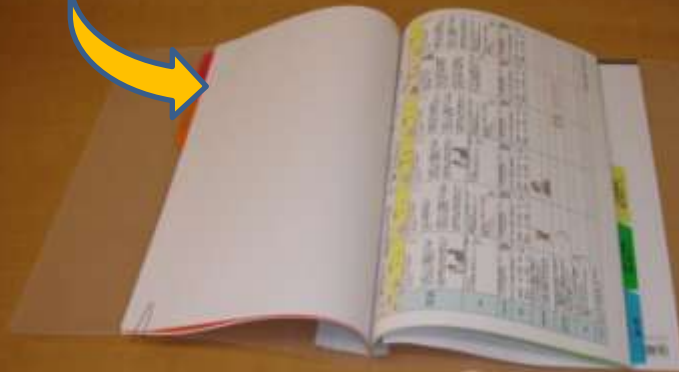
愛知県	名古屋市立大学病院
長野県	国立大学法人信州大学医学部附属病院
福岡県	九州大学病院
兵庫県	兵庫医科大学病院
岡山県	岡山大学病院
三重県	国立大学法人 三重大学医学部附属病院
静岡県	浜松医科大学医学部附属病院

事務局紹介(初代)

部門調整に手腕
を發揮！

アイデアで勝負

デザインにこだわりました。



頼れる事務局(2期目)

記録システム開発
ホームページの開設

肝がん撲滅運動
市民公開講座

佐竹主査

医師会訪問でPR!



患者情報ライブラリー

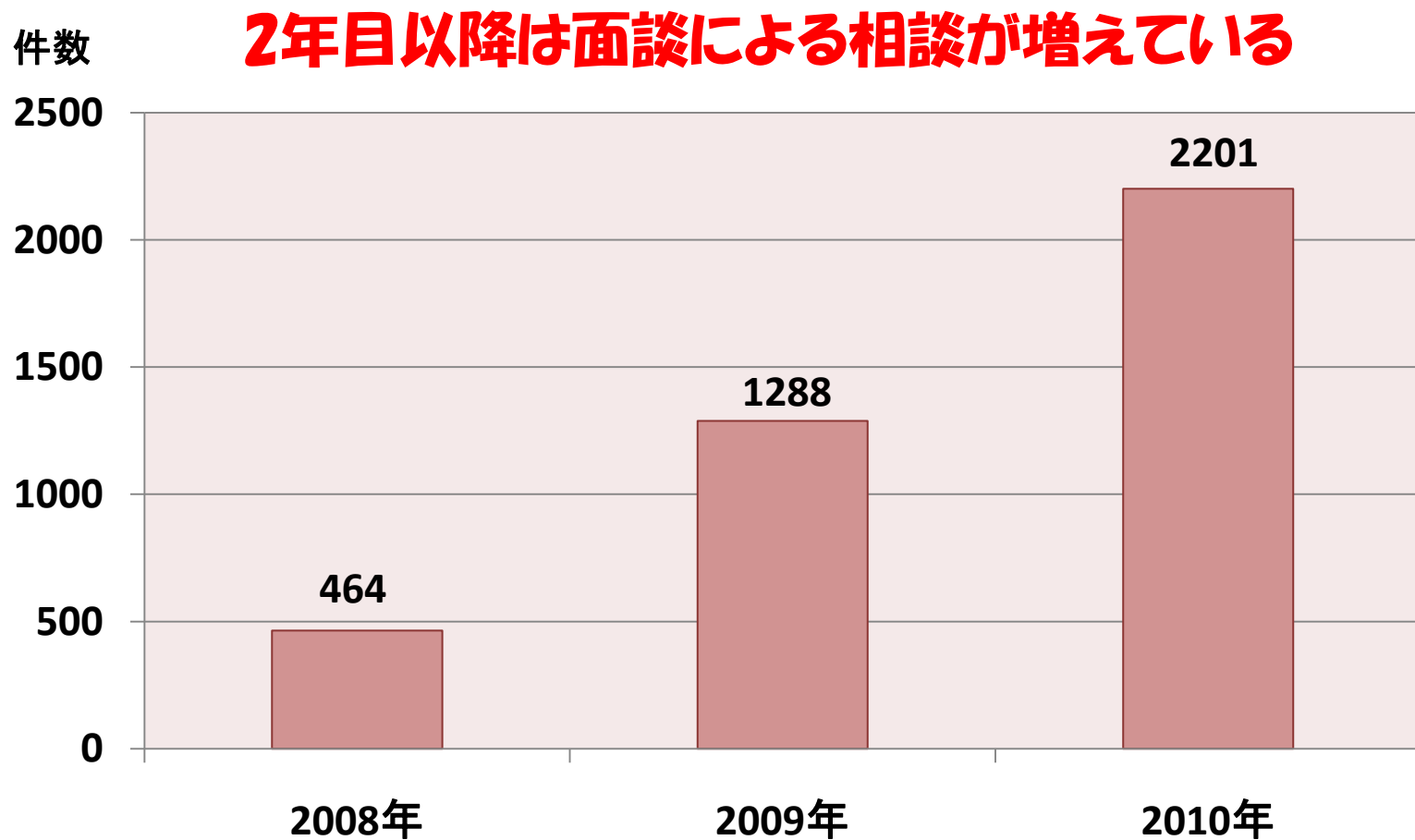
各種パンフ
レット



パソコン3台設置



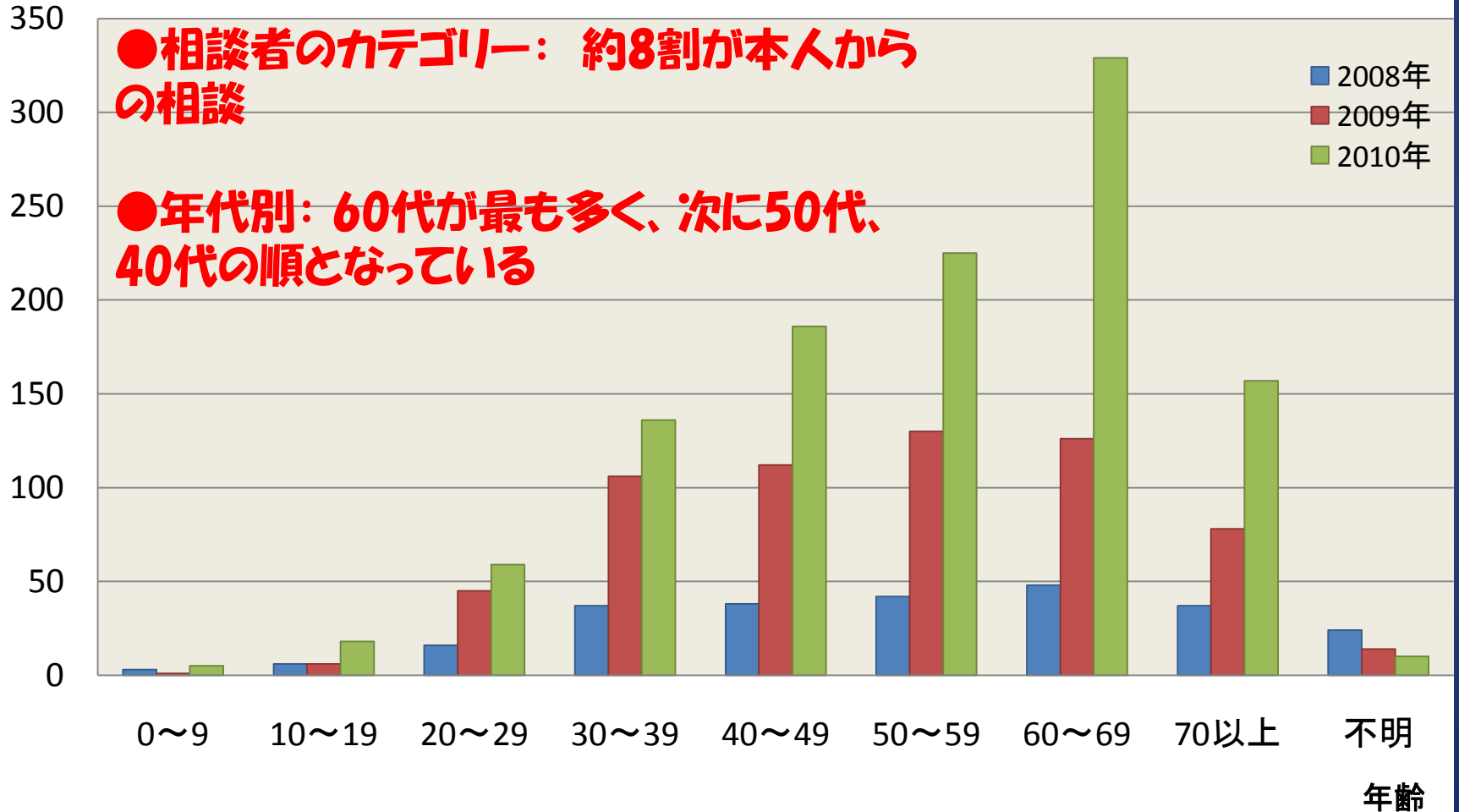
年度別相談件数



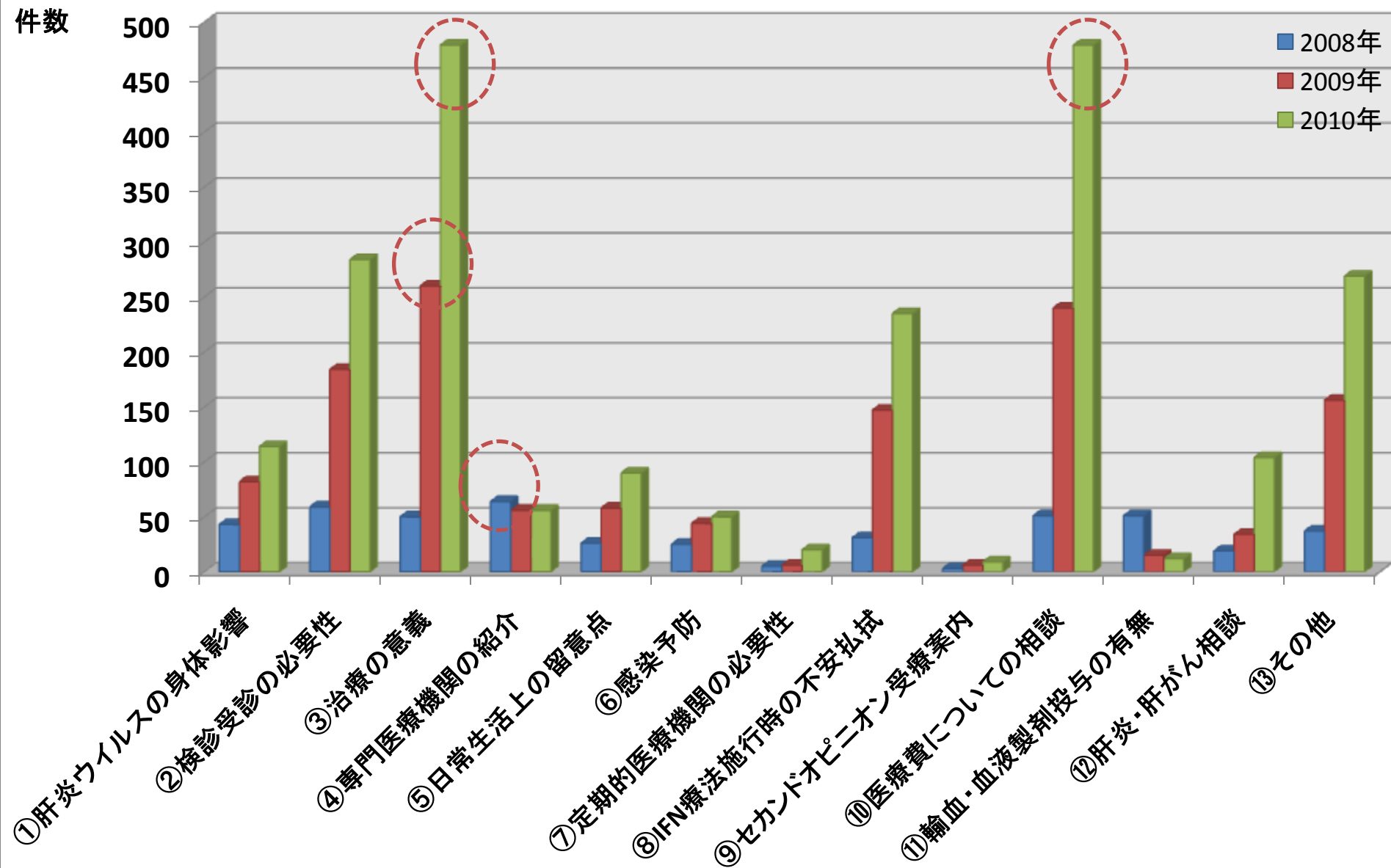
※2008年度は7月～3月の9ヶ月分

年代別

人数



相談内容別



相談室充実にむけての課題 ～効果的に機能させるために～

1. 相談体制の充実

- ・ 多岐にわたる相談に対応するためには**専任の相談員の配置**が必要(専門の看護師2名)

2. 専門医との連携

- ・ 治療に関する専門的な内容の相談も多く、**専門医との連携体制**を整えることは不可欠

3. 相談員のキャリアアップ

- ・ **最新の治療**や相談技能習得にむけての自己啓発、研修会への参加が重要

4. 啓蒙活動:事務局的サポートは必須

- ・ **病院内での市民公開講座 + 肝疾患相談室の紹介(見学)**
- ・ **ホームページの充実**

肝硬変、肝がんの
治療に強い

臨床も研究も
がんばっています



後輩の指導に力を
いれています

肝炎の治療と
研究に強い

フットワーク
は誰にも負
けません



名古屋市立大学病院



御清聴ありがとうございました